

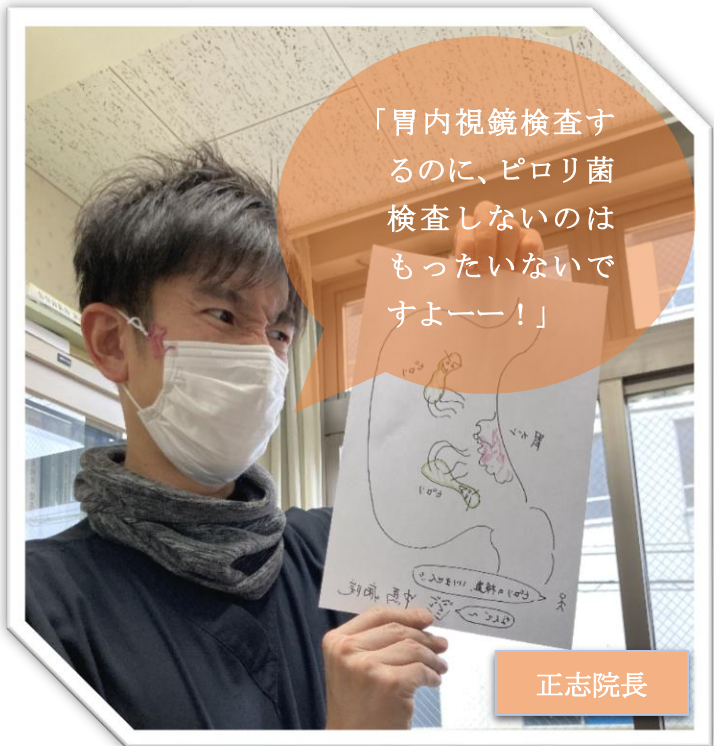
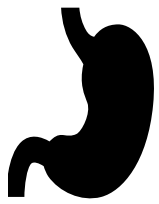
# 正志のつぶやき

## ピロリ菌検査と除菌

### ▼検査の奨め

胃がん検診で胃カメラをするのに、「ピロリ菌の検査は希望しません！」という方が1割くらいいて、胃がんの原因はそもそもほとんどピロリ菌なので、胃がん検診の意義からするとピロリ菌の検査をしない意味が分からない・・・。「なんでやねん」と。

でもね、お金かかったら強引に検査するわけにはいかななくて。「医者、俺が言ってるから、四の五の言わず検査せーや！」なんて言うのと嫌われちゃうでしょ。だから言わないんですよ。でも、してほしいんですよ・・・。いかん、テンション上がってきた！



正志院長

### ▼薬の説明

ピロリ菌を退治すると、胃がんや胃潰瘍になりにくくなるのですが、他に体に出てくる影響を2つ。

#### 1つ目

ピロリ菌がいなくなると胃が元気になつて胃酸が増え、逆流性食道炎になりやすくなります。逆流性食道炎になつてしまったら、しばらくは胃酸を抑える薬を飲んで、慣れていく必要があります。

#### 2つ目

ピロリ菌がいると、胃酸が減っているの、口の中の細菌(口腔内細菌)が胃酸で殺菌されずに腸まで届いてしまいやすくなります。胃酸が増えることで、悪い菌が腸まで届かなくなつてしまいます。腸の常在(腸内細菌叢)が変化して、一時的に便が緩くなることがあります。これは体にとつていい変化なので、喜びましょう。

説明をちゃんとして



「ピロリ菌 陽性の場合は、除菌をしましょう！詳しく、丁寧に説明いたします！」



ピロリ菌除菌薬「ボノサップ」

## 【ほんの少し・・・本紹介】

### 日本のいちばん長い日

▼胃癌末期の紳士(85歳)との診察室での会話

正志(以下 正)「自宅はどう過ごされているのですか？」

患者(以下 患)「本を読んでいます」普通ならここで会話は終わるのですが、末期癌の方が読もうと思う本に興味があり、正「どんな本をお読みになるのですか？」ときいてみました。患「半藤一利さんの『日本のいちばん長い日』を。あの時、そんなことが起こっていたのか」と驚きながら読んでいます」その時点で半藤一利さんのことは知らなかったため、早速購入。

1945年8月15日 終戦に至るまでの24時間を描いた作品です。85歳の紳士には、現代の学問を学んだ我々とは異なり、自分から求めない限り戦争に関わる真実を知る機会はなかったのでしょうか。

その後の診察で、患「自身が体験したことに關して、当時では絶対に知ることのできない真実を知ることが、この上ないおもしろさがあります」と仰っていました。



👉 病院の書庫にあります！